

【別紙1】

都道府県別接種率：<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou21/dl/250929-02.pdf>

総合表 都道府県別麻しんワクチン接種率 2024年度最終評価 接種対象群別結果一覧

2024年4月1日～2025年3月31日

95%以上 90～95%未満 80～90%未満 70～80%未満 70%未満

No.	都道府県	第1期	第2期
	合計	92.7	91.0
1	北海道	93.0	89.4
2	青森県	92.1	93.1
3	岩手県	91.7	93.0
4	宮城県	94.4	89.4
5	秋田県	90.0	94.2
6	山形県	92.7	92.8
7	福島県	95.1	93.4
8	茨城県	90.9	90.7
9	栃木県	91.9	90.0
10	群馬県	90.7	92.6
11	埼玉県	92.9	91.5
12	千葉県	94.1	92.3
13	東京都	94.3	90.8
14	神奈川県	94.8	90.4
15	新潟県	92.8	94.1
16	富山県	91.8	93.5
17	石川県	93.5	90.6
18	福井県	92.6	92.4
19	山梨県	94.6	91.4
20	長野県	90.5	91.1
21	岐阜県	91.7	89.8
22	静岡県	92.6	88.7
23	愛知県	93.4	92.0
24	三重県	91.3	90.7
25	滋賀県	94.8	92.4
26	京都府	91.5	90.8
27	大阪府	93.5	91.4
28	兵庫県	92.4	92.1
29	奈良県	92.2	91.0
30	和歌山県	93.2	91.4
31	鳥取県	90.4	91.6
32	島根県	91.3	92.5
33	岡山県	91.6	93.2
34	広島県	91.2	90.2
35	山口県	94.6	92.6
36	徳島県	89.6	92.2
37	香川県	90.6	94.3
38	愛媛県	90.5	91.2
39	高知県	91.0	89.4
40	福岡県	92.5	90.8
41	佐賀県	89.7	90.6
42	長崎県	87.6	87.8
43	熊本県	88.3	91.1
44	大分県	90.0	89.7
45	宮崎県	90.1	91.3
46	鹿児島県	88.8	86.9
47	沖縄県	86.3	82.8

厚生労働省健康・生活衛生局感染症対策部予防接種課、国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所予防接種研究部

※ 各接種率は、小数点第二位以下を四捨五入

なお、市区町村別接種率についても、厚生労働省 HP にて公開している。

(第1期)：

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou21/dl/250929-05.pdf>

(第2期)：

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou21/dl/250929-06.pdf>

【別紙2】

MR ワクチンの医療機関への納入量

(単位：千本)

	令和6（2024）年度 実績	令和7（2025）年度 実績	令和8（2026）年度 見通し
4月	212	196	189
5月	197	182	188
6月	174	175	258
7月	170	165	176
8月	157	145	159
9月	152	157	173
10月	171	151	176
11月	147	118	154
12月	121	108	120
1月	123	114	124
2月	143	122	123
3月	182	192	171
合計	1,950	1,825	2,010

※1 数量については、阪大微生物病研究会、第一三共株式会社及び武田薬品工業株式会社のMR ワクチンの医療機関への納入量の合計

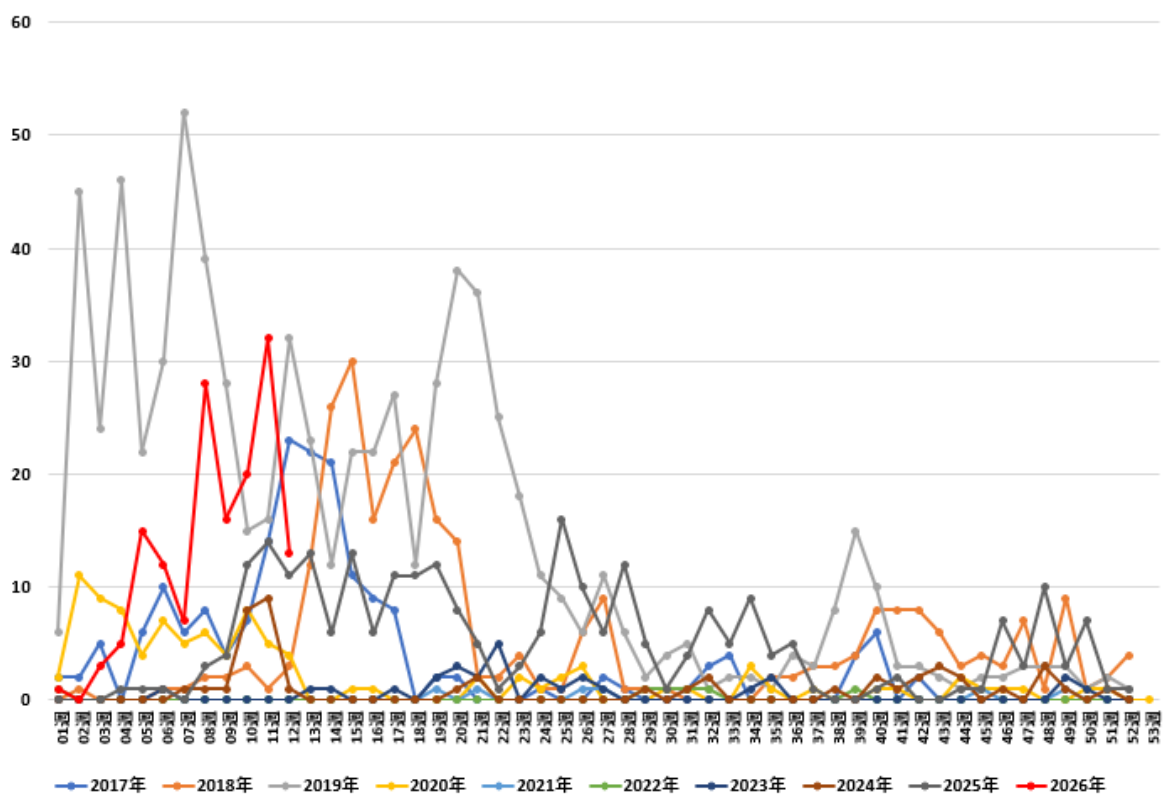
※2 令和8年2月末時点での企業からの聞き取り結果を基に作成

※3 令和8年3月以降については、医療機関への納入量の見通しを記載

【別紙 3】

2017～2026 年における麻しんの報告数

(単位：人)



※1 2008年1月1日から全数届出対象疾患

※2 2026年は、3月22日時点

**こどもも 大人も 麻疹を疑った際の対応**

- 発熱 + 発疹 + カタル症状(咳・鼻汁・結膜充血) ● 口腔内のコプリック斑
- 海外渡航歴 または麻疹患者発生地域への移動歴、接触歴
- ワクチン2回未完了 または 不明

**全身性発疹+発熱+カタル症状(咳・鼻汁・結膜炎)±流行地滞在**  
成人例でも重篤になる可能性があります

**典型的皮疹**  
融合傾向を示す  
紅色斑丘疹



**コプリック斑**  
頬粘膜に好発



**修飾麻疹では、典型所見に乏しいことがあるので注意!**  
(修飾麻疹とは、麻疹に対する免疫が不十分な人に生じる、軽症で非典型的な麻疹である)

**1 感染対策**

- 個室管理対応、患者にマスク着用を促し、扉を閉める(可能なら陰圧室)
- 空気感染対策(原則、N95マスク)+標準予防策を行う
- 対応する医療者と接触者を最小化する



**2 臨床対応**

- ワクチン接種歴聴取、臨床評価、脱水や呼吸管理等
- 合併症: 中耳炎、肺炎、下痢等による脱水、脳炎

※ 麻疹患者との接触後、72時間以内に麻疹含有ワクチンを接種すること等によって、麻疹の発症を予防できる可能性がある。

**3 連絡・届け出**

- 院内ICTへ即時連絡 ● 麻疹と臨床診断したら直ちに発生届提出
- できるだけ早期(発疹出現後1週間以内)に、保健所の指示に基づく検体(咽頭ぬぐい液・尿・EDTA血)を採取し、提出する
- 提出方法は、自治体毎に異なるため、管轄の保健所に問い合わせる

※ 必要に応じてIgM抗体検査も実施するが、発疹出現後3日以内は偽陰性に注意する。

【別紙5】

<https://www.mhlw.go.jp/content/001521591.pdf>

## 感染症対策

# ま 麻疹 (はしか) に

ちゅうい  
ご注意ください



### 症状

感染すると約10日後に発熱やせき、鼻水といったかぜのような症状が現れます。

2～3日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発しんが出現します。肺炎、中耳炎を合併しやすく、患者1,000人に1人の割合で脳炎が発症すると言われています。

### 麻疹かな?と思ったら

医療機関に電話等で麻疹の疑いがあることを伝え以降は医療機関の指示に従ってください。医療機関への移動の際は公共交通機関の利用を可能な限り避けてください。

### 感染経路

空気感染等により、簡単に人から人に感染します。麻疹の免疫が不十分な人が感染すると、高い確率で発症します。


### 予防方法

ワクチン接種が有効です。定期接種対象者（1歳児、小学校入学前1年間の幼児）、医療・教育関係者、海外渡航を計画している方は、予防接種が済んでいるかご確認ください。



海外での感染にもご注意ください

詳しくは、厚生労働省ホームページをご覧ください

 厚生労働省

感染症対策課 2026年3月 作成

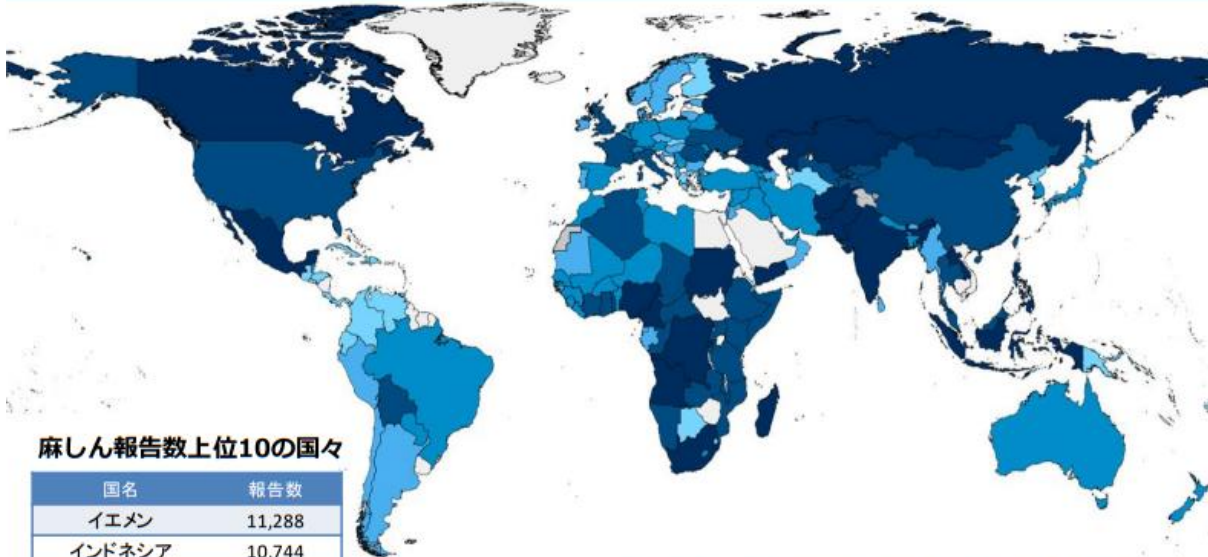


【別紙6】

<https://www.mhlw.go.jp/content/001509133.pdf>

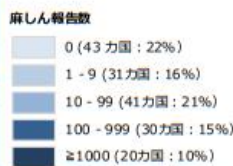
海外から帰国された方へ

# 帰国後2週間程度は 麻疹 発症の可能性を考慮し 健康状態に注意してください。

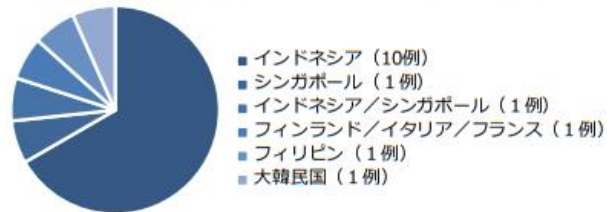


麻疹報告数上位10の国々

国名	報告数
イエメン	11,288
インドネシア	10,744
インド	9,666
パキスタン	7,361
アンゴラ	4,843
ラオス人民民主共和国	3,167
メキシコ	2,846
ナイジェリア	2,755
アフガニスタン	2,668
モンゴル	2,551



日本国内で届出された麻疹症例の推定感染地域



WHO (世界保健機関) 麻疹報告数 (2025年7月~2025年12月)

2026年第1週~第9週 (令和7年12月29日~令和8年3月4日)

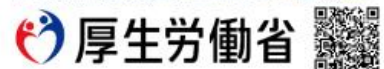
令和8年2月現在; 一部改変

<https://www.who.int/teams/immunization-vaccines-and-biologicals/immunization-analysis-and-insights/surveillance/monitoring/provisional-monthly-measles-and-rubella-data>

## 帰国後2週間程度は

✓ 高熱や全身の発しん、せき、鼻水、目の充血などの症状に注意しましょう

詳しくは、厚生労働省ホームページをご覧ください



感染症対策課 2026/3/11作成

【別紙 7】

<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/05MR.pdf>

**もしも、のために知っていただきたいこと**

- 定期の予防接種による副反応のために、医療機関で治療が必要になったり、生活が不自由になったりしたとき(健康被害)は、法律に定められた救済制度(健康被害救済制度)があります。
- 制度の利用を申しこむときは、その接種を受けた時に住民登録している市町村にご相談ください。

※詳細は、厚生労働省HPをごらんください。「予防接種 救済制度」で検索できます。

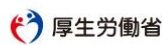
**シリーズのご紹介**

このリーフレットは、法律で定められている定期接種のうちMRワクチンを「きょう」接種するお子さんと、その保護者のみなさまのために、かならず知っておいていただきたい内容をまとめたものです。そのほかの定期接種についてまとめたシリーズと、あわせてお読みください。

各リーフレットは、厚生労働省HPおよび予防接種リサーチセンター HP からダウンロードできます。「予防接種 リーフレット」で検索できます。

くわしくは「**予防接種と子どもの健康**」(発行：公益財団法人予防接種リサーチセンター)をごらんください。

医療機関名



# きょう コノワクチン

きょう 予防接種をうける  
お子さんと、保護者のみなさまへ

MR(麻しん・風しん混合)ワクチンのはなし

## きょう の予防接種を安心してうけていただくために

MRワクチンのはなし

父親の協力も  
大切なんだな!

**MRワクチンって?**

- ◆ 麻しん(M)・風しん(R)は、それぞれのウイルスを口や鼻などから吸いこむことで感染する病気です。うつりやすい病気で、一人がかかると、家族やまわりの人たちに広がってしまうこともあります。
- ◆ 麻しん(はしか)にかかると、熱やせき、鼻水がでたり、ぶつぶつができてきます。まれですが、重くなると命にかかわることもあります。
- ◆ 風しんにかかると熱がでたり、ぶつぶつがでたりします。
- ◆ MRワクチンを接種することで、体のなかに麻しん・風しんへの抵抗力(免疫)ができます。
- ◆ このワクチンは1歳になってからと、小学校入学前1年間に接種します。

- 妊娠中に麻しんにかかると、流産や早産などの問題をおこすことがあります。
- 妊娠中に風しんにかかると、赤ちゃんに感染し、耳が聞こえにくい、目が見えにくい、生まれつき心臓に病気がある、発達がゆっくりしているなど「先天性風しん症候群」にかかってしまうことがあります。
- 予防接種をうけても、お子さんの体質や体調によって完全な免疫がでないことがあります。でも予防接種をうけておくと、たとえかかっても、その多くは軽くてすみます。

- 小さなお子さんは動かないように、しっかりと抱っこしてあげてください。保護者のみなさまがリラックスすると、お子さんも安心します。
- 注射で泣くお子さんは多いもの。大切な予防接種が苦手にならないように、がんばったことをほめてあげるなど、保護者のみなさまの工夫がカギです。

**2**

ワクチンを接種するときのポイント

**3**

接種後の注意

- 接種直後、30分くらいは接種後の体調変化にすぐ対応してもらえよう。医療機関のなかでお子さんの様子を見てあげるか、すぐに医師と連絡がとれるようにしててください。この間に急な体の変化がおこることがあります。
- 帰宅後もはげしく体を動かすことはさげさせ、接種箇所をきれいに保ってあげましょう。
- おふろには入れてもかまいませんが、接種箇所をごすらないでください。

予防接種をうけたことは将来、その病気に対して免疫があることを示す大事な記録となります。母子健康手帳は大切にとっておきましょう。

**1**

当日はココをチェック

- お子さんの体調はよいか、熱があったり、ふだんと変わったところはないか確認しましょう。
- 心配なことがあるときは、医師に相談しましょう。質問をメモしておくとも伝えやすくなります。
- 母子健康手帳はかならずもっていきましょう。

**おこるかもしれない体の変化(副反応)**

- ◆ MRワクチンを接種した後、熱がでたり、ぶつぶつがでたりすることがあります。また、接種箇所が赤くなったり、はれたりすることもあります。
- ◆ きわめてまれにアナフィラキシー<sup>1)</sup>、けいれん、血小板減少性紫斑病<sup>2)</sup>、脳炎などの重い病気にかかることがあるともいわれています。

1) アナフィラキシー：急激なアレルギーにより、じんましんがでたり呼吸が苦しくなったりします。  
2) 血小板減少性紫斑病：かさがたをつくる働き血小板の数が少なくなって、出血しやすくなったりします。皮膚の下で出血して青あざがでたり、歯ぐきから血がでたりします。

○ 予防接種をうけた後、気になる症状や体調の変化があらわれたら、すぐ医師に相談してください。